

OLC+ オアシスライフ・ケア

私たちは、2011年3月11日の東日本大震災を機に
オアシスチャペル利府キリスト教会によって設立された非営利のボランティアグループです。

※法人設立準備中

目次

巻頭言

専任スタッフ國分からのご
挨拶です。

ページ 1

活動報告

私たちが行っている様々
な活動を紹介しします。

ページ 2-3



団体情報

スタッフや協力団体の紹
介、また支援のお願いにつ
いて記しました。

ページ 4



巻頭言

ただただ地道に

先月21日、海外からのボラ
ンティアチームと共に、南三
陸町志津川地区で瓦礫拾いを
しました。震災から二年半あ
まり。現在でもその必要があ
ることは驚きです。志津川の
中心部は、家屋の土台も殆ど
が撤去され、以前の面影を感
じることはもはや困難です。

場所によっては草原へと様変わりしました。一
見、瓦礫も全く目につきません。しかし、地面
をほんの少し掘り起こしたり草を掻き分けたり
すると、「あの日の日常」が容易に伺えるので
す。印鑑登録証、洗濯機の部品、食器の破片、
衣類…。ガレキとして扱うには抵抗を感じる
モノが未だにたくさん出てきます。とても地道
な作業で、10人が丸一日がかりで撤去し切れた
のはわずか数メートルの区間。普段は見過ごし
ていた現状だったこともあり、震災の生々しさ



あなたがたのうちに良い働きを始められた方は、
キリスト・イエスの日が来るまでにそれを完成さ
せてくださることを私は強く信じているのです。

新約聖書・ペリピン人への手紙より

と共に、再生までのほど遠さ
を改めて痛感しました。

私は、SHIZU革のスタッフ
として、製作者を含む志津川
の方々と毎週の様子に接してい
ます。気心が知れて毎日が和
んだ交流となることは感謝で
すが、一見の雰囲気安んじ
てしまうと、瓦礫に目を留め
ていなかったのと同様に、そ
れぞれが抱え続けているであ

ろう「痛み」を見過ごしてしまうと自戒しまし
た。関わる人たちの心に触れ、「わたしはひと
りじゃない」と実感していただくことがオアシ
スライフ・ケアの使命です。ただただ地道にこ
の使命に歩んだイエス・キリストを想いなが
ら、働きを継続していきたいと願っています。
引き続いての応援をよろしくお願いいたしま
す！また、オアシスライフ・ケア企画の被災地
ツアーも継続しておりますので、ご参加下さり
現状を体感していただければ幸いです。

オアシスライフ・ケア スタッフ 國分圭介

内職支援プロジェクト SHIZU革

「与える」SHIZU革へ

再来月11月でSHIZU革は二周年を迎えます。風化が問題視される昨今、プロジェクトが継続できていることは感謝に尽きません。特に最近では、各方面からSHIZU革への関心が寄せられています。日本のモノ作りを推進する企業、女性誌、国内外でのチャリティイベント、社会起業家…。一連の反響に思うことは、地域活性や女性支援、社会貢献、ソーシャルビジネスなど、震災以前からの社会問題や取り組みにもSHIZU革が通じる可能性があるということです。この二年間は多くの方々から多くを受けて成り立って来ました。今後は良い意味で“倍返し”を意識していきたいと思えます。昨年、ある市場調査会社が25,000人の男女を対象を行った調査によれば、実に90%が「ふだんの生活で社会に貢献したい」と回答したそうです。SHIZU革がより与える側となり、風化防止のきっかけや、社会貢献の場などを提供していけるように模索しています。与え合いながらSHIZU革を継続していきたいと願っています。

6月末にはWebサイトを公開しました。SHIZU革のみならず、志津川の現状発信にも努めています。ソーシャルメディアでのPRにご協力いただければ幸いです。
SHIZU革公式サイト：
www.shizugawa.jp



石巻市 寄磯支援

寄磯産の海産物を購入し、復興を応援しましょう！

寄磯浜の漁業は震災によって壊滅的な被害を受けました。現在、漁港自体の修繕はまだまだ途上の段階なのですが、養殖漁業については徐々に復興が進んでいます。皆様のご協力に感謝いたします。養殖棚は、震災後、毎年着実に数を増やしており、3年間で震災前とほぼ同じ個数(120棚)までに復旧出来ました。この養殖棚を海に出すためには、たくさんの「土のう」が必要になるため、今年は私たちも土のう作りに協力させていただきました。漁師さんと一緒に8,000個以上を作り、海上の養殖棚を約40棚増やすお手伝いをしました。

寄磯浜では、主にホタテとホヤを養殖しています。ホヤは後1年水揚げを待たなければなりません、ホタテはすでに水揚げが始まっています（私たちもこのホタテをいただきましたが、大変美味しかったです！）。今は石巻市寄磯産の海産物を購入し、味わうことが支援になります。ぜひ、応援をよろしくお願いします！

※インターネット上の「Yahoo!復興デパート内、マルキ遠藤商店さん」で購入出来ます。



高校生がアメリカ人ボランティアに英語でプレゼン！

宮城県多賀城市は、東日本大震災による津波で約30%が浸水し、約200名の尊い命が失われた被災地域です。その多賀城市にある宮城県多賀城高校には国際研究部という部活動があります。この国際研究部のメンバーが、OLCにボランティアのために来てくれたアメリカ人の方々に対して、震災についてのプレゼンテーションをすべて英語で行ってくれました。生徒たちは何グループかに別れ、自分の被災体験談を話し、様々な角度から震災についての情報をシェアしてくれました。中には、震災で親戚を亡くした生徒さんもおられました。プレゼンテーションの後は、被災沿岸部をボランティアと生徒たちで訪れ、復興のプロセスにある被災地の歩みを共に感じて来ました。



来てけさいんツアー

第二回 被災地スタディツアーを実施！

7月8日から11日までの日程で「第二回 来てけさいんツアー」を行いました。第一回ツアーを踏まえて、今回は、オアシスライフ・ケアのスタッフ自身の被災体験をシェアする機会を盛り込んだり、スタッフと被災地(被災者)との関係を切り口として案内させていただいたりしました。オアシスライフ・ケア版の“語り部”企画。好評をいただき何よりでした。

被災地を初めて訪れた方々の中には、被災の光景そのものに衝撃を受けられている方もおられました。「イメージとは全然違っていた」「実態を目の当たりにし、人々の痛みと強さを見せていただいた」「テレビで見ると実際に現地に立つのとは大きな差がある」などの感想が寄せられました。

震災から二年半の月日が経過しましたが、長い年月が経過したからこそ、実際に“見る・聞く・体験する”場を設けることの意義をスタッフも再確認しました。

第一回ツアーに引き続き、海友支援隊の稲井さんと阿部さんや、東松島市矢本運動公園仮設・自治会長の小野さんに各所の案内をご協力いただきました。ありがとうございます。次回は、秋(10月21日～24日)に計画しましたので、東北の美しい紅葉も楽しんでいただけたらと思います。皆様のご参加、お待ちしております。



インターナショナルキャンプ

アメリカから来たメンバーと充実の三日間！

子どもたちの夏休み期間中に、3日間のインターナショナルキャンプを開催しました！被災地域の小中学生を対象に募集し、子どもたちと日本人スタッフ、米国カリフォルニア州のGardena Valley Baptist Church(GVBC)から応援に来たチームも加わり、合わせて約50名が参加しました。

子どもたちは、普段は体験できない様々な遊びにチャレンジしたり、豊かな自然の中で踊りながら思いっきり歌ったり、アメリカから来たメンバーが聖書から語る希望のメッセージを聞いたりして過ごしました。彼らが話す生の英語に触れ、英会話や英語の歌をたくさん教えてもらいました。また、ランチプログラムでは、本場のハンバーガー作りを親御さんたちも一緒に体験し、石巻市寄磯産のホタテ(海友支援隊さん提供)とともに美味しく味わい、心から楽しむことが出来ました。

今回のキャンプのために、サマリタンズパース様の経済的なサポートを始め、多くの方々の協力がありました。改めて感謝いたします。これからも、子どもたちのために、国際交流や非日常の遊びを体験できる機会、聖書を通じた心の教育の機会を提供していきたいと願っています。



KEN MATSUDA、アメリカで熱唱！

ゴールデンウィークにアメリカ・テネシー州ナッシュビルにあるクライストチャーチを訪れ、現地で開催された、被災地東北を覚えるチャリティーコンサートに出演して、ゴスペルを歌い、被災地での活動報告を行いました。

震災から二年以上の月日が経っているにもかかわらず、震災の話を涙を流しながら真剣に聞いてくださり、東北を覚えて熱く祈ってくださる方が大勢いらっしゃいました。東北にいながらも震災の出来事が風化しつつある現実を目の当たりにする今日、遠く離れたナッシュビルで、この東北の地を覚えて、お祈りや歌声が捧げられていることに大きな励ましを受けました。感謝！(KEN)



ご協力のお願い

皆様からのご支援・ご協力に心から感謝申し上げます。私たちは今後も、復興のために、長く、効果的な働きを続けていきたいと願っています。引き続きご協力をよろしくお願い致します。

支援金窓口

《三菱東京UFJ銀行》

支店名：仙台支店 口座番号：普通 0242364
口座名：オアシスライフ・ケア 代表 松田牧人

《ゆうちょ銀行》

- ・他金融機関より
店名：八一八（読み ハチイチハチ）
口座番号：普通 4130375
口座名：オアシスライフ・ケア
- ・ゆうちょ銀行より
記号：18110 番号：41303751
口座名：オアシスライフ・ケア

※ 定期的に発行しているニュースレターをご所望の方は、お手数ですが当方までご連絡ください。

※ 過去の活動レポートは当方のウェブサイトで閲覧いただけます。

(<http://oasislifecare.org>)

関連情報

スタッフ

松田牧人（代表・オアシスチャペル利府キリスト教会 牧師）
郡山英明（専任・会計 担当）
國分圭介（専任・SHIZU革、南三陸町 担当）
菊地祥彦（石巻市 担当）
松田 献（ゴスペル、東松島市 担当）
三浦良太（森郷キャンプ場 担当）

連絡先

事務所：宮城県宮城郡利府町中央2-5-1（利府キリスト教会内）
TEL&FAX：022-356-2494（利府キリスト教会と兼用）
※SHIZU革に関するお問い合わせは 022-356-9443 へ
E-mail：info@oasislifecare.org

Webサイト

Webページ：<http://oasislifecare.org>
Facebookページ：<http://www.facebook.com/OasisLifeCARE>
Twitter：<http://twitter.com/#!/OasisLifeCARE>

賛同者

尾山清仁・キャンシー（聖書キリスト教会東京教会・牧師）
加賀洋子（ASKアカデミー・ジャパン株式会社 CEO）
葛西浩二（有限会社テレビジョンワークス・代表取締役）
Kaz Kato（ミュージシャン）
郡山榮次郎（心療内科医）
後藤献児朗（有限会社サーブ介護センター 代表取締役）
篠田真宏（ゴールデンルールリミテッド・代表）
ジェイソン・エワート（作家・Australian of the Year nominee 2007）
中村佐知（翻訳者／心理学者〈Ph.D.〉／JCFN理事）
日野 哲（東北学院大学・総務部長）
広崎仁一（ヒューサーブ代表）
藤掛 明（聖学院大学総合研究所・准教授／臨床心理士）
藤原淳彦（聖学院大学総合研究所・教授／恵約宣教会・牧師）
松田和憲（関東学院大学工学部・教授／関東学院教会・牧師）
渡邊忠雄（元 東北大学大学院工学研究科・教授／中国〈瀋陽〉
東北大学・客員教授）

協力団体

一般社団法人 海友支援隊 www.kinka-hoya.com
一般社団法人 CRASH Japan www.crashjapan.com
一般社団法人 サマリタンズパース www.samaritanspurse.jp
NPO法人 音楽で日本の笑顔を smile-chorus-ngo.org
宗教法人 日本バプテスト同盟 www.jbu.or.jp
聖書キリスト教会東京教会 seishokirisuto.com
Bridges For Peace JAPAN www.bfpj.org
ホープみやぎ www.hopemiyagi.org

※50音順／敬称略／2013年9月1日現在